

みんなの 肖像の大ま 像(1) 阪 ち

大 阪 中 之 島 美 術 館 開 館 記 念 展

第1期 / 「都市」への道標。 明治・大正・昭和戦前

2022年

大阪中之島美術館 4階展示室

4月9日(土)

開館時間:10:00-17:00(入場は16:30まで)

7

月曜日休館(5/2を除く)

※災害などにより臨時休館となる場合があります。

主催:大阪中之島美術館、読売新聞社

7月3日(日)

助成:公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団



大阪中之島美術館



構想発表から約40年を経て、ついに開館を迎えた大阪中之島美術館。「みんなのまち 大阪の肖像」は、当館が立脚する「大阪」をテーマとした展覧会です。明治以降、時代とともに変遷してきた大阪の“肖像”を2期にわたってご紹介。美術とデザインを活動の両輪とする当館ならではのコレクションを中心に、大阪府市内外の博物館や美術館、企業などからの出品も交え、大阪の源泉となった魅力や活力、そして美意識を掘り起こします。

「第1期／「都市」への道標。明治・大正・昭和戦前」は、当館が所在する中之島を起点に、明治維新とともに近代都市へと歩む大阪の表情をご覧ください。大正期には日本一の人口を誇り「大大阪」と呼ばれるまでに成長した大阪では、芸術もまた独自の発展をとげました。経済の興隆、鉄道網の発達、デパートや娯楽施設の誕生などに芸術家も寄り添い、江戸期に薬種問屋が集約された伝統により飛躍した製薬業、近世・近代に栄えた出版業など、さまざまな産業がモダンアートの発展に刺激を与えたのです。この躍動する時代を、本展覧会（第1期）では、絵画、写真、ポスターをはじめとする作品・資料約270点によって展観します。過ぎし日の姿に「懐かしい大阪」を感じることもあれば、見慣れたはずの街に「知らない大阪」を発見する機会となるかもしれません。一人ひとりが想い描く大阪の姿に、本展覧会が新たな横顔をもたらせば幸いです。（5月17日（火）より展示作品の一部が変わり、後期展示となります）

1_前田藤四郎《デパート装飾》
1930年代
リノカット、紙
大阪中之島美術館蔵
（後期展示）

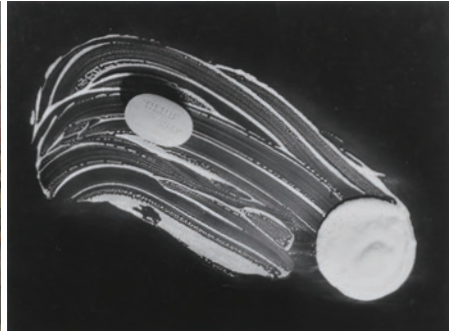
2_片岡敏郎《赤玉ポートワイン》
1922年（大正11）
オフセット・写真製版、紙
サントリーポスターコレクション
（前期展示）

3_山田伸吉《禁断の楽園 松竹座
The Captain's Daughter》
1924-25年（大正13-14）頃
カラーリトグラフ、紙
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵
（AN.2694-27）
（後期展示）

4_北野恒富《たかしまや
呉服店ポスター（矢の根五郎）》
1919年（大正8）
印刷、紙
高島屋史料館蔵
（前期展示）

5_小出楢重《街景》
1925年（大正14）
油彩、カンヴァス
大阪中之島美術館蔵

6_小石清《クラブ石戯》
1931年（昭和6）
ゼラチンシルバープリント
大阪中之島美術館蔵



1	2	3
4	5	6

観覧料（税込）	第1期＋第2期セット券（税込）
◎一般 1,200円 ◎高大生 800円 ◎小中生 無料	◎一般 2,000円 ◎高大生 1,200円 ◎小中生 無料

*第1期＋第2期セット券は、第1期の会期終了までの限定販売です。販売は大阪中之島美術館2階チケットカウンターのみで行っています。*20名以上の団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。団体料金は各料金の200円引きです。*障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は各料金の半額です（要証明）。*一般以外の料金でご利用される方は証明できるものを当日ご提示ください。*本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。*展示室内が混雑した場合は、入場を制限する場合があります。*今後、地域の新型コロナウイルス感染状況などを踏まえ、展覧会の会期・開館時間などを変更させていただく場合があります。ご来館の際には大阪中之島美術館公式ホームページなどで最新の情報をご覧ください。また、ご来館にあたっては、マスクの着用など、感染拡大防止対策にご協力くださいますようお願いいたします。

関連イベント

講演会「描かれた大大阪ー近代都市景観と画家たちー」
2022年4月23日（土）14:00-15:30 講師：橋爪節也（大阪大学教授） 会場：1階ホール 定員：150名

担当学芸員によるギャラリートーク
2022年4月16日（土）、5月18日（水）、6月11日（土）、6月22日（水）10:30-11:30 会場：4階展示室 定員：50名

※いずれも要事前申し込み、参加費無料、ただし展覧会観覧券が必要。詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。
※上記の他にも各種イベントを予定しています。決定次第、大阪中之島美術館公式ホームページでお知らせします。

相互割引のご案内	期間中、大阪中之島美術館開館記念展「みんなのまち 大阪の肖像」の観覧券（半券可）または電子チケットを当館チケットカウンターでご提示いただくと、大阪中之島美術館 開館記念特別展「モディリアーニー愛と創作に捧げた35年ー」のチケットを以下の割引料金にてご購入いただけます。
対象展覧会	大阪中之島美術館 開館記念特別展「モディリアーニー愛と創作に捧げた35年ー」
会期	2022年4月9日（土）～7月18日（月・祝）
観覧料（税込）	◎一般 1,800円→1,500円 ◎高大生 1,500円→1,200円 ※一般・高大生のみ相互割引の対象となります。 ※いずれも対象券1枚につき1名様有効。※チケット購入後の割引はできません。※他の割引との併用はできません。

予告

みんなの 肖像のまち 大阪(2)

第2期／「祝祭」との共鳴。

昭和戦後・平成・令和

8月6日（土）～10月2日（日）

【電車・バスでお越しの場合】

■電車 ○京阪|中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分
○Osaka Metro|四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分
○JR|大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分
○阪神|福島駅(3番出口)より南へ徒歩約10分
■バス ○大阪シティバスJR大阪駅前より53号・75号系統「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分 ※お帰りのJR大阪駅方面最寄りバス停は「渡辺橋」になります。
【駐車場】有料駐車場あり(割引サービスはございません)。
※詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1 <https://nakka-art.jp>
TEL 06-4301-7285 (大阪市総合コールセンター)



大阪中之島美術館



みんなの 肖像の大ま 像(2) ち

大阪中之島美術館開館記念展

第2期/「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和

2022年8月6日(土)～10月2日(日)

◎大阪中之島美術館 5階展示室 ◎月曜日休館(9/19を除く)

◎開館時間:10:00-17:00(入場は16:30まで)

※災害などにより臨時休館となる場合があります。

◎主催:大阪中之島美術館、NHK大阪放送局 ◎特別協力:積水ハウス **SEKISUI HOUSE**

◎協力:BXティアル、DICデコール、TOTO、朝日ウッドテック、王建工業、キョーライト、クリナップ
シャープ、積水ホームテクノ、象印マホービン、ハウテック、パナソニックグループ、不二サッシ

◎助成:公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人ユニオン造形文化財団



大阪中之島美術館

「みんなのまち 大阪の肖像」は、大阪中之島美術館の開館を記念して、当館の建つ地である「大阪」をテーマに、明治から現代へと時代の流れとともに変遷してきた大阪の“肖像”を2期にわたり紹介する展覧会です。戦前編の第1期に続くこの「第2期／「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和」では、焼野原から人々が力強く立ち上がった戦後復興期から、1970年(昭和45)の日本万国博覧会、そして現代へと、新しい何かを求め新しい何かに翻弄されながら起伏の激しい時代を生きるまちとその表情をご覧くださいます。

家電や工業化住宅は、いまや私たちの暮らしの当たり前となっているものですが、高度経済成長期に誕生した当初は新しいライフスタイルを表現する憧れの的でした。モノが溢れだしたこの時代は、芸術活動もさらに活発化し、これまでにない新たな表現が次々と登場します。広告はややかな競争の場となり、デザイナー同士で表現を高め合う場面もみられました。人々を熱い渦に巻き込んだ70年万博を経て、世紀を超えてなお個性豊かな大都市としての歩みを続ける大阪。2025年(令和7)には2度目の万博を迎えます。その発展と変貌の軌跡を、絵画、ポスター、家電、実物大工業化住宅などの作品・資料約300点によってご覧いただきます。美術とデザインを活動の両輪とする当館ならではのコレクションを中心に、大阪府市内外の美術館・博物館や企業などからの出品を加え、大阪の魅力を広く深く掘り起こします。

1_白髪一雄《赤牌》
1970年(昭和45)
油彩、カンヴァス
大阪中之島美術館蔵

2_早川良雄《第11回秋の秀彩会》
1953年(昭和28)
印刷、紙
大阪中之島美術館蔵

3_前田藤四郎《盛場近し》
1951年(昭和26)
リノカット、紙
大阪中之島美術館蔵

4_1970年代の実物大工業化住宅
(イメージパース)
積水ハウス株式会社

5_松下電器産業株式会社
《ナショナルテレビ 嵯峨(TC-96G)》
1965年(昭和40)
パナソニックミュージアム蔵

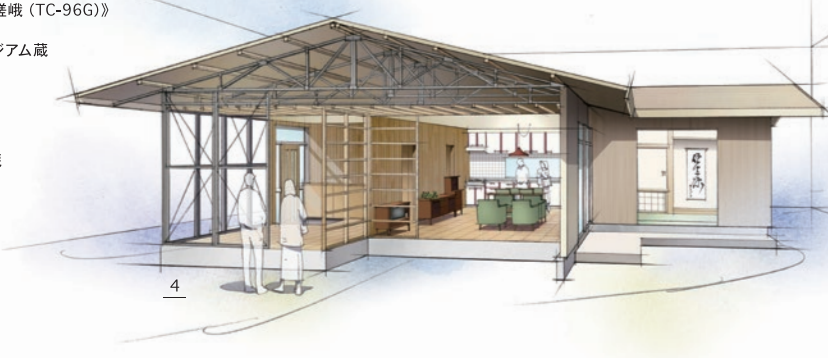
6_やなぎみわ
《案内嬢の部屋 B1》
1997年(平成9)
ダイレクトプリント
大阪中之島美術館蔵



3



6



4



5

観覧料(税込)

◎一般 1,200円 ◎高大生 800円 ◎小中学生 無料

第1期+第2期セット券(税込)

◎一般 2,000円 ◎高大生 1,200円 ◎小中学生 無料

*第1期+第2期セット券は、第1期の会期終了までの限定販売です。セット券の販売は大阪中之島美術館2階チケットカウンターのみで行っています。*20名以上の団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。団体料金は各料金の200円引きです。*障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は各料金の半額です(要証明)。*一般以外の料金でご利用される方は証明できるものを当日ご提示ください。*本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。*展示室内が混雑した場合は、入場を制限する場合があります。*今後、地域の新型コロナウイルス感染状況などを踏まえ、展覧会の会期・開館時間などを変更させていただく場合があります。ご来館の際には大阪中之島美術館公式ホームページなどで最新の情報をご覧ください。また、ご来館にあたっては、マスクの着用など、感染拡大防止対策にご協力くださいますようお願いいたします。

関連イベント

1_講演会「大阪万博の戦後史 EXPO'70からEXPO2025に向けて」2022年9月10日(土) 14:00-15:30

講師: 橋爪紳也(大阪公立大学研究推進機構特別教授)

会場: 1階ホール 定員: 150名

《FUTURE LIFE FACTORY by Panasonic Design》

2_特別展示「レトロ家電ハックプロジェクト リミックス」2022年8月6日(土)-28日(日)

会場: 5階パッサージュ

3_ワークショップ「リミックスラボ 絵×音 かいて、きこう」2022年8月20日(土)、8月21日(日)

午前の部(対象: 小学生以下) 10:30-12:00、午後の部(対象: 中学生以上) 14:00-16:30

会場: 1階ワークショップルーム 定員: 各回15名

4_担当学芸員によるギャラリートーク 2022年8月13日(土)、9月14日(水) 10:30-11:30

会場: 5階展示室 定員: 各回50名

*1,3,4は、要事前申し込み、参加費無料、ただし展覧会観覧券が必要。詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

*上記の他にも各種イベントを予定しています。決定次第、大阪中之島美術館公式ホームページでお知らせします。

【電車・バスでお越しの場合】

■電車 ○京阪|中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分

○Osaka Metro|四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分

○JR|大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分

○阪神|福島駅(3番出口)より南へ徒歩約10分

■バス ○大阪シティバス|JR大阪駅より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分 ※お帰りのJR大阪駅方面最寄りバス停は「渡辺橋」になります。

【駐車場】有料駐車場あり(割引サービスはございません)。
※詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1 <https://nakka-art.jp>

TEL 06-4301-7285(大阪市総合コールセンター)



大阪中之島美術館



7月3日(日)まで開催中

みんなの 肖像の大ま ち(1) 阪

第1期／「都市」への道標。

明治・大正・昭和戦前

4月9日(土)～7月3日(日)

「みんなのまち 大阪の肖像」

—— 公式SNS開設中 ——

@osaka_portrait